

三 監 告 示 第 3 号

随時監査結果に関する報告の公表について

地方自治法第 199 条第 5 項の規定に基づき、随時監査を三条市監査基準に準拠して実施したので、本書のとおり同条第 9 項の規定により公表します。

令和 4 年 3 月 18 日

三条市監査委員 長 橋 昇

三条市監査委員 椛 澤 綾 子

三条市監査委員 武 石 栄 二

記

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 監査の対象 | 「随時監査結果に関する報告書」のとおり |
| 2 監査の期間 | 同 上 |
| 3 監査の方法 | 同 上 |
| 4 監査対象の概要 | 同 上 |
| 5 監査の結果 | 同 上 |

随時監査結果に関する報告書

1 監査の対象

令和2年度及び令和3年度における市民部生涯学習課所管の図書館等複合施設建設工事の設計及び施工に関する執行状況

2 監査の期間

令和3年10月4日から令和4年3月18日まで

3 監査の方法

監査に当たっては、工事の計画、設計、積算、施工等が法令等に準拠し適正かつ効率的に執行されているかを主眼として、書類審査を行うとともに関係職員及び事業関係者からの説明を聴取して実施した。

なお、技術面については、特定非営利活動法人建設技術監査センターに工事技術調査業務を委託して実施した。

4 監査対象の概要

(1) 事業概要

「三条市総合計画」では、長寿社会に合った環境整備において、外出機会の創出による健幸づくりとして、歩くことに適した街並みの残る中心市街地の拠点的な機能の再生を通じたまちの魅力づくりを進めることとしている。

図書館等複合施設は、人口減少に伴い求められる機能やニーズの変化に対応していくため、施設機能の集約化、複合化を図り、これまで以上に交流やにぎわいを創出していくエリアとして、隣接するステージえんがわ、鍛冶道場を含めた図書館、鍛冶の歴史や魅力を伝える鍛冶ミュージアム機能に加え、科学教育センター機能を兼ね備えた新たな複合施設として設置を進めている。

その建設工事の事業概要は次のとおりである。

ア 建設場所	三条市元町1069番1外（旧三条小学校跡地）
イ 敷地面積	13,613.08 m ²
ウ 建物概要	【本館】鉄筋コンクリート造 地上3階建 建築面積 1,895.86 m ² 延べ面積 4,388.90 m ² 【多目的ホール】鉄骨造 地上1階建 建築面積 875.78 m ² 延べ面積 723.83 m ²

(2) 工事概要

ア 本館建築本体工事

工 事 名 図書館等複合施設建設本館建築本体工事
請 負 者 福田・桑原・長谷川興産特定共同企業体
工事期間 令和2年9月25日～令和4年2月28日
契 約 額 1,456,290,000円

イ 多目的ホール建築本体工事

工 事 名 図書館等複合施設建設多目的ホール建築本体工事
請 負 者 加賀田・米山特定共同企業体
工事期間 令和2年9月25日～令和4年2月28日
契 約 額 356,950,000円

ウ 電力設備工事

工 事 名 図書館等複合施設建設電力設備工事
請 負 者 大方・須藤・大原特定共同企業体
工事期間 令和2年9月25日～令和4年2月28日
契 約 額 291,500,000円

エ 空調設備工事

工 事 名 図書館等複合施設建設空調設備工事
請 負 者 ナガオケ・サカエシステム特定共同企業体
工事期間 令和2年9月25日～令和4年2月28日
契 約 額 317,900,000円

オ 衛生設備工事

工 事 名 図書館等複合施設建設衛生設備工事
請 負 者 三条配管工業株式会社
工事期間 令和2年8月6日～令和4年2月28日
契 約 額 92,400,000円

カ 通信設備工事

工 事 名 図書館等複合施設建設通信設備工事
請 負 者 株式会社大島電機
工事期間 令和2年8月31日～令和4年2月28日
契 約 額 75,900,000円

キ 工事監理業務委託

委託業務名 図書館等複合施設建設工事監理業務委託
請 負 者 株式会社隈研吾建築都市設計事務所
委託期間 令和2年9月29日～令和4年3月14日
契 約 額 53,460,000円

5 監査結果

本施設の建設工事の計画、設計、積算及び契約に関する書類並びに工事監理体制及び施工体制に関する書類は、適正に整備されており、施工状況についても、計画書に基づいて適正に工事が実施されている。

本施設は、少子高齢化社会の中で地域の活性化を図るべく、ものづくりの伝統を活かした複合施設である。この度の施設建設をきっかけに隣接する施設も含め、地域の歴史と文化を踏まえた、より良い景観醸成につなげ、市民のオアシスとして機能し、誇れる街並みの形成に取り組まれることを期待したい。引き続き本年7月の開館に向けて施工業者、工事監理者と協力して事業を遂行されるよう要望する。

なお、技術的な観点を踏まえた所見は、次のとおりである。

(1) 計画

事業決定の手續や決裁、関係機関との協議、工事の確認申請書類の整備、関連工事の調整等は適切に行われ、予算との整合性等は図られている。

まちなかのにぎわい創出円卓会議のワーキンググループでの意見を取りまとめた基本計画を基に、関係団体から意見を聴取した上で建設計画を策定している。

(2) 設計

適用している設計基準及び設計図、特記仕様書及び設計書等の設計関連資料等の整備及び運用は適切に行われている。

また、設計事業者をプロポーザルで選定しており、設計の初期段階において、市民、設計事業者、市が協議調整することで地域マインドを取り入れた設計になっている。

なお、設計におけるそれぞれの評価は、次のとおりである。

ア 多目的ホールを分棟とすることで利用率の向上を図り、本館との間を屋根付きの広場とすることで悪天候時にも使える市民スペースとしている。

内部は各機能が孤立しないよう回廊やスキップフロアでスペースをつなぎ、複合機能の相互連関・相互作用が高まるよう配慮している。

イ 木材の柔らかな質感により、隣接するステージえんがわとの親和性及び施設の親しみやすさを生み、JR弥彦線を含めた遠景からの施設のシンボル性を高めている。なお、木材を構造体を使用したステージえんがわに対して、耐火建築物の鉄筋コンクリート造となる本施設でも、内外装仕上げに木材を利用することで色彩や素材の親和性を生み出すことも意図している。また、建築には越後杉など多くの木材を使うことで地域林業へ貢献しており、地域経済の循環が図られている。

ウ 電気設備設計は、安全性、省エネルギー、効率性を考慮した設備計画となっている。また、主な居室の照明点滅を事務室の遠隔操作とし、一括管理することにより、維持管理や保守点検が容易に行われるよう設備環境を整えている。

エ 空調設備設計は、空調負荷計算、機器選定、システム構築など空調性能を十分確保し、個別の要求に応えられるよう個別分散方式とし、省エネルギーを考慮して、空冷ヒートポンプパッケージエアコンとしている。なお、機器の選定には汎用製品を採用し、故障時における速やかな対応に配慮している。

(3) 積算

積算基準については、国又は市の公共建築工事の基準を基本とし、材料単価は標準単価表及び刊行物を使用しており、適正な積算が行われている。

(4) 入札契約

一般競争入札については、新潟県入札情報サービスに入札公告、設計書及び図面等を掲載しており、市の財務規則等に従って公正かつ適切に行われている。

(5) 工事監理

工事監理については、監理方針書を基に、試験、検査、品質管理等が適切に行われている。なお、一部の業務を市内の三条市建築設計協同組合に委託するなど、それぞれの工事監理をチームで効率的に行っている。

(6) 施工

総合施工計画書及び工種ごとの施工計画書に基づいて、適切に施工されている。また、各種工事及び関連工事との調整については、合同連絡調整会議等で適切に行われている。

(7) 環境管理

周辺環境の騒音等対策として、騒音振動計による計測や粉じん飛散防止のための散水、周辺道路の清掃等を行っている。建設資材は建設リサイクル推進計画に配慮するとともに、再生資源利用計画書により適切な管理が行われている。

また、廃棄物処理については産業廃棄物管理票（マニフェスト）にて適切な管理が行われている。

(8) 維持管理

本施設は、コンクリート、鉄骨、木材等の耐久性能が異なる材料を使用しており、劣化等を考慮した維持管理対策が必要である。同様に様々な設備等についても、建築基準法第 12 条に基づく点検等を踏まえた予防保全はもちろん、経年劣化を抑えるために定期的な修繕を行うことから計画的な維持管理対策が必要

である。

こうした観点から、公共施設の維持管理、長期的視野及び計画性を持った効率的な取組を行うため、公共施設の維持管理計画を作成することが望ましい。

また、施設の建設から維持管理、廃棄までのコストを算定することにより、新たな施設建設に必要なデータとなるので、ライフサイクルコストの算定にも取り組んでいただきたい。